

子宮頸がんやうつ病の闘病体験を語る松田さん
(京都市下京区・京都看護医療予備校)



子宮頸がん苦しみ 看護師に助けられ

女優の松田さん、若者に語る

下京でセミナー

子宮頸がんの予防を啓発するセミナーが18日、京都市下京区の京都看護医療予備校で開かれた。子宮頸がんを体験した女優でシンガー・ソングライターの松田陽子さんが「看護

師さんがいたから、苦しい中からはい上がってこられた」と話し、看護師を目指す若者を励ました。

若い女性に増えている子宮頸がんの検診受診率向上を目的にした

キャンペーンの一環で、京都新聞が主催した。

松田さんは出産後に子宮頸がんを発症し、子宮全摘手術を受けた。告知後のショックや術後のつらさを率直に語り「入院して、看護師さんの愛情のこもったまなざし、温かい肉声、スキンシップに助けられた」と話した。退院後にうつ病となり、友人の「必ず使命がある」という言葉で克服したことも告白。「一つ一つの体験は無駄じゃない。乗り越えていける。人は夢をかなえるために生まれてきた」と力強く語った。

(今口規子)